

令和4年度 幼小連携全体構想図

・幼稚園教育要領
・小学校学習指導要領
・県の計画
・宮古島の計画

本校の教育目標	
幼稚園	小学校
<ul style="list-style-type: none"> ○あかるくげんきなこ ○こころゆたかでやさしいこ ○よくかんがえてくふうするこ 	<ul style="list-style-type: none"> ○自らすすんで学ぶ子ども ○思いやりのある広い心の子ども ○健康で明るくたくましい子ども

幼児・児童の実態
・毎日顔を合わせ声かけができる。
・ワクワクタイム・朝会等の集会を一緒に行っている。
・運動会、学習発表会等、学校行事もともに行う。

幼小連携で目指す子どもの姿
安心の中で、自己を発揮しながら、仲間とともに主体的に学びに向かう 狩俣っ子

幼小連携における目標
～ 子どもの学びと育ちをつないでいく ～

- ① 幼児期から小学校入学への希望をもち、安心して学校生活を過ごせる体制を構築する。
- ② 幼稚園、保育所での経験を小学校生活でも活かしながら、自立と成長を促し、自己肯定感を高める。
- ③ 幼稚園と小学校の交流を通して、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を共有し、相互の教育活動の理解促進と向上を図る。

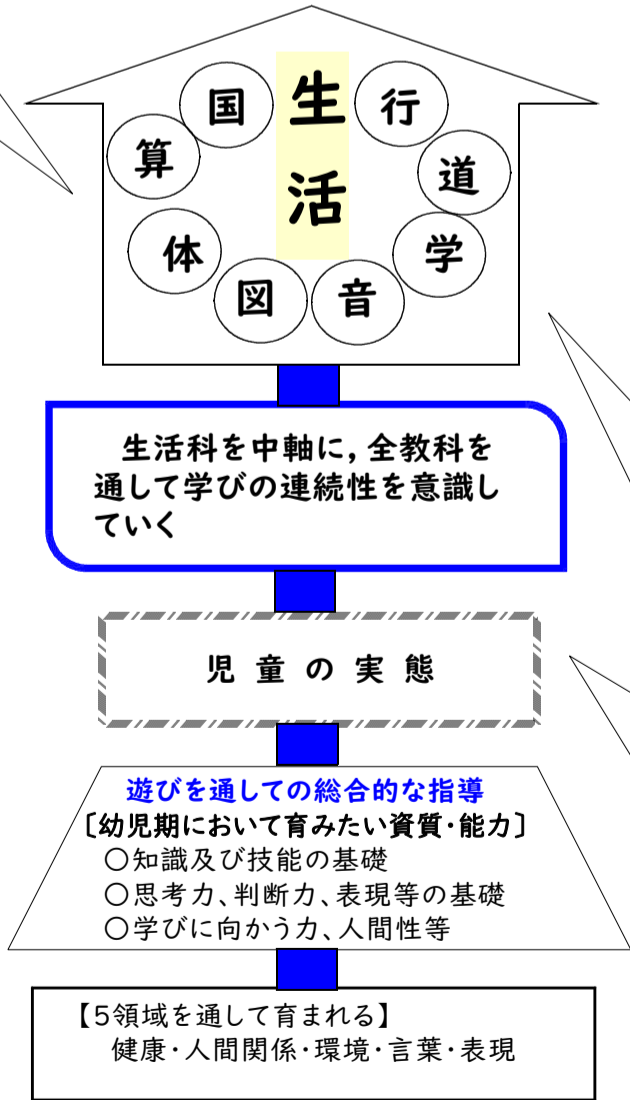
幼小連携における期待される姿	
幼児教育施設 小学校	幼小連携を通して開かれた学校づくりを推進し、幼稚園・小学校の活性化を図ることで、幼児教育・小学校教育の質を高めることができる。
幼児	児童と交流したり、小学校生活に触れたりすることで、入学時の戸惑いや不安を軽減し、小学校への親しみや期待感、あこがれの気持ちを高めて小学校生活へ滑らかに移行することができる。また幼稚園で学んだ力を発揮することで、自己肯定感が高まり、次への学ぶ意欲へとつなげることができる。
児童	幼児と触れ合うことで、自らの成長を実感し自尊心が高まるとともに、思いやりの心や自分を表現する力などの、人と関わる力を育てることができる。
教師	相互参観や、合同研修会等により、互いの教育の違いや子どもの発達、学びのとらえ方を理解することができるとともに、教師としての質を高めることができる。
保護者	幼小の連携状況について保護者に提供することを通して、入園や入学への不安を軽減するとともに、安心感、期待感を持って入園・入学への準備を整えることができる。また幼小の一貫した取り組みを通して、基本的な生活習慣の確立等、家庭の教育力を高めることができる。

連携・接続に関すること
【幼児期の学びを継続・発展】

- ① 幼児教育の学びを活かした教育課程編成と単元構築。
- ② 幼小交流の場をもつ。
- ③ 校内研究に幼稚園教諭を招くなど合同研究を行う。
- ④ 引き継ぎの焦点化を図る。
(幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿・情報提供シートの活用)

幼小連携(交流)年間計画

- ・4月…**にっこにこタイム**(教室まで連れて行き、学習用具の準備・片付けをともに行う。幼→5・6年、1年→3・4年)
授業参観(入学直後スタカリ実施期)
幼・1年生をむかえる会
- ・5月…**こいのぼり朝会**にむけて(6年生と鯉のぼり作り)
- ・6月…保育参観
- ・7月…**七夕朝会**に向けて(1年生と飾り作り)
- ・8月…アプローチカリキュラムについて
- ・9月…運動会に向けての話し合い・練習
(1・2年生と一緒に玉入れ)
- ・10月…運動会の振り返り
秋野菜の栽培(1・2年生と種まき)
- ・11月…ミニミニ発表会(各学年)
- ・12月…秋野菜収穫祭(1・2年生)
- ・1月…スタートカリキュラムについて
- ・2月…**体験入学** 入学に向けての話し合い
- ・3月…1年間のふりかえり、次年度へ向けて



スタートカリキュラムに関すること

【単元構成と配期の工夫】

- ① 体験活動、友達との関わりを重視した、自覚的な学びに向かう単元構成。
- ② 生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫による単元配列。

【週の計画と時間配分】

- ① 弾力的な時間割の設定を行う。
- ② ①の期間を学校全体の過行事と関連付け、組織的に見守る。

【教師の意識改革】

- ① 子どもを学校の枠にはめるのではなく、子ども達のそれまでの育ちや学びを引き出すという発想の転換。
- ② 子どもの経験を活かし考えを引き出す言葉かけを大切にする。

共通のものさし

【幼児期の終わりまでにそだってほしい10の姿】

- ① 健康な心と体
- ② 自立心 ③ 協働性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現